

JOC Training Program

「情報感知能力を高める」

演習型プログラム

全社的開発力を高める
企業内の商品開発課題・テーマをもとに、
商品開発セオリーとその具体的展開を学び、
全社的な商品開発力を高めることがテーマです

I. 目的

生活の周辺にある様々な情報から、
時代・市場・生活価値観の変化を捉え、
商品開発切り口として発展できるように、
「視点開発」「キーワード化」「アイデア創出」を
体得する演習型のプログラムです。

下記のような課題をお持ちなら...

- ◆ 情報に対するアンテナの感度が落ちている気がする
- ◆ 情報を集めただけで、活用できていない
- ◆ 情報から「本質」が探れなくなっている
- ◆ 「考える力」をもっと伸ばしたい

II. ステップの詳細

I. 基調レクチャー

1. これからのニーズの発見・開発
2. 時代・市場・生活価値観の変化とコンセプト開発
3. 気づきの情報源

先行情報の捉え方／新聞を読む／定点観測

II. 演習

1. 情報感知能力を高める

自分を取巻く「気づき」の発見（気づきカアアップ）

- 最近気になるモノ・コト・ヒト
- ヒットしているモノ・ヒト・コト
- 自社のビジネスに関係しそうな情報
- 時代の変化からの影響
- 市場の変化からの影響
- 生活の変化からの影響



気になる、ヒットした理由は何か

- 特徴認識
- イメージ認識
- 4 W1H (Who, When, Where, What, How)

2. 本質を捉えて、発展させる

「気になる」「ヒットしている」ものや「変化」から、
その本質を認識し（認識力アップ）、さらに発展させてみる（展開力アップ）

- キーワード化
- 拡大化（そのキーワードからは、こんな事象も見える！）
- 延長化（その先には、こんなことが起こるのではないか？）
- 四則演算（キーワードを加・減・乗・除してみる）
- 裏返し（キーワードの反対に何が見えるか？）

3. 感知情報のスパークング

捉えて発展させたキーワードを、各テーマ商品のコンセプトに

- 魅力的な生活メリットの開発
- ターゲット開発
- 場面開発



商品コンセプト化

4. 商品コンセプトから、製品アイデアへ

コンセプトを、製品アイデアにどのように落とし込むかの体得

- コンセプトからの品質、容量、形状、機能、価格など
- それは、ベネフィットと矛盾していないか？
- それは、ターゲットと矛盾していないか？
- それは、オケーションと矛盾していないか？

Ⅲ. 運営方法

- 各3～4時間×3～4回
(打合せの上で決定)
- 社内教育の目的と基本レクチャー
- ミーティングの回数は、
テーマ商品によって事前に
打合せスケジュール化する
- 各ステップに従い、
ワークショップを行う
- 各ステップ毎の作業が時間
内に終わらない場合、
次の回までに各グループ
で仕上げる

【各ステップのイメージ】

第1回

スタート・レクチャー (日本オリエンテーション)
ワークショップ

各ステップの課題を完結

第2回

ワークショップ
次回のテーマの確認

各ステップの課題を完結

⋮

IV. 担当コンサルタント

松本 勝英

株式会社日本オリエンテーション代表

シーメンスを経て、1969年マーケティング・コンサルティングを業務とする
日本オリエンテーションを設立。

食品、トイレットリー商品、薬品、家電商品、ミュージシャン、出版など
パッケージ商品、耐久消費財およびサービス商品のマーケティング、
新商品戦略の立案を担当。

現在、文化人類学、動物行動学、神経生理学、民族学、言語学、など
融合した「新人間学」とマーケティング戦略との融合を追及中。

IV. お問い合わせ・お申込み

プログラムの内容・期間・スケジュール、費用など詳細は、
下記にお問い合わせください。
打合せの上、企画書を作成致します。

株式会社 日本オリエンテーション
Mail To: office@jorien.com
東京都千代田区麹町2-10-3 リ・ノウ麹町
電話 : 03-4540-6254 FAX : 03-6869-3802
URL : <http://www.jorien.com/>